

就業中の熱中症撲滅に向け 愛知労働局長自らが パトロールを実施



阿部局長

令和6年5月20日に就業中の熱中症撲滅に向け愛知労働局長自らが工事現場のパトロールを実施しました。

愛知労働局（局長 阿部 充）は、令和5年の愛知県内における熱中症による休業4日以上死傷労働者数が60人（対前年比14人増）となったことを受け、梅雨明けの時期から急激な環境温度の変化に身体が対応しきれず、熱中症が増加し始める5月から集中的な取組を実施することとしています。

具体的には、労働災害防止団体、県内の中堅以上の建設業に対して要請を行うほか、建設業に対する集中的な監督指導等を実施します。

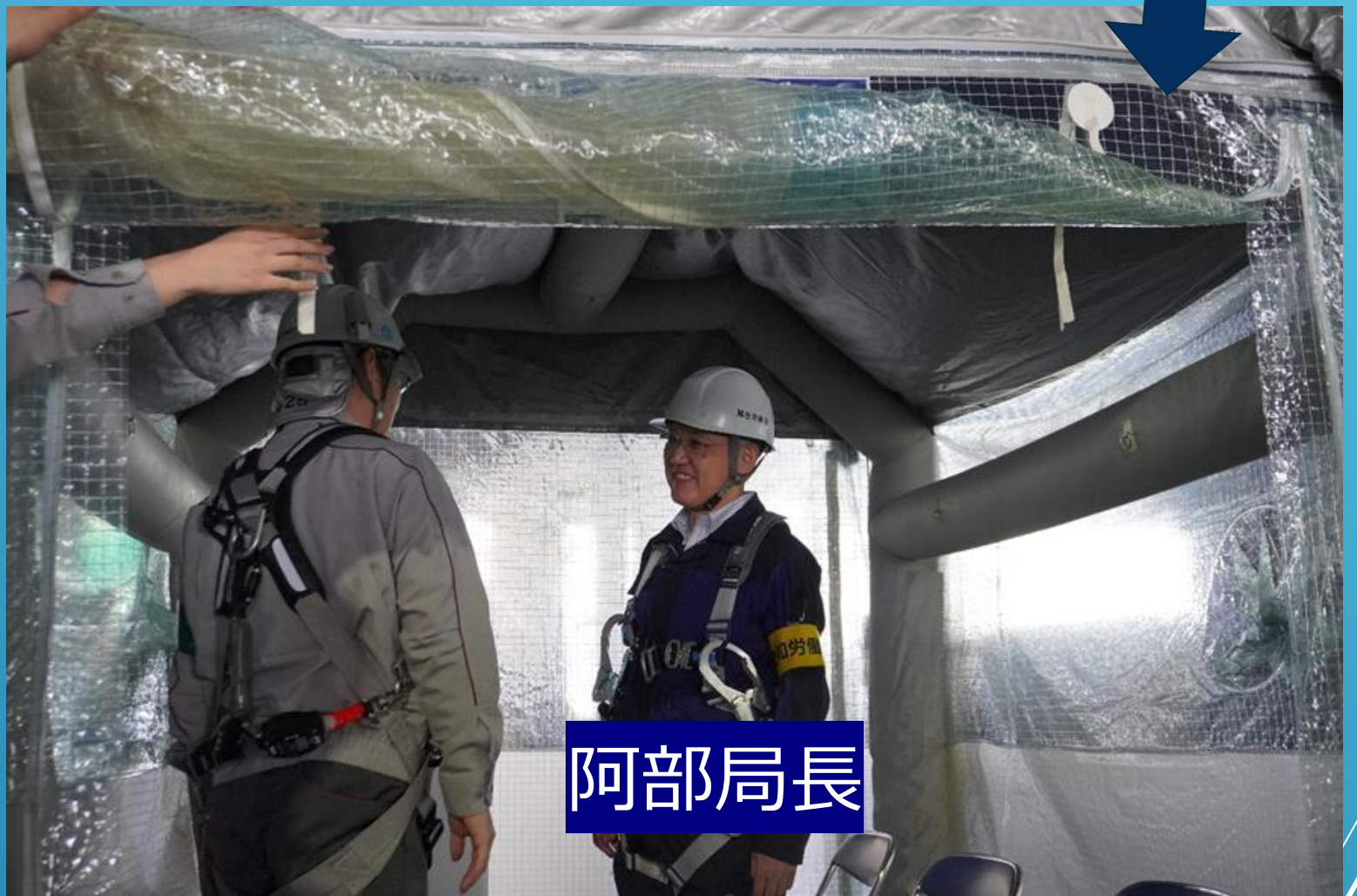


ゴクゴク

熱中症対策として朝礼後の作業開始前に、作業者全員がスポーツドリンクで水分補給しました。

簡易養生テント
「すぽっとQ」

猛暑による負荷を低減する環境整備のため、簡易養生ユニットクールダウンスペースとし、「すぽっとQ」が設置されていました。



阿部局長



阿部局長

質問!!

パトロール後、報道関係者様からの質問にお答えしました。